

別記

1 事業者の名称及び主たる事務所の所在地

名称：東日本旅客鉄道株式会社
代表者：代表取締役社長 清野 智
所在地：東京都渋谷区代々木二丁目2番2号

2 対象事業の名称及び種類

名称：大崎短絡線整備事業
種類：鉄道の改良

3 対象事業の内容の概略

事業は、品川区西品川三丁目から大崎一丁目までの延長約 1.1km において、横須賀線（上り線）から分岐し大崎駅構内で大崎支線（下り線）に接続する短絡線の整備、及びそれに伴う大崎駅構内の一部改良を行うものである。

事業計画の概要を表 1 に示す。

表 1 事業計画の概要

項目	計画の概要
事業区間	起点：品川区西品川三丁目 終点：品川区大崎一丁目
事業延長	約 1.1km (大崎短絡線 約 0.6km、大崎駅構内一部改良 約 0.5km)
構造形式	盛土、高架橋
工事予定期間	約 4 年

4 環境影響評価の項目

環境影響評価を行う項目は、対象事業の事業計画案の内容から環境影響要因を抽出し、地域の概況から把握した環境の地域特性との関係を勘案し、表 2 に示すとおり選定した。

選定した項目は、騒音・振動、日影、電波障害、景観及び廃棄物の 5 項目である。

表2 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連表

環境影響評価の項目	予測事項	区分	工事の完了後	
		環境影響要因	建設工事	鉄道の走行
大気汚染				
悪臭				
騒音・振動	建設機械の稼動に伴う建設作業騒音・振動			
	列車の走行に伴う鉄道騒音・振動			
水質汚濁				
土壌汚染				
地盤				
地形・地質				
水循環				
生物・生態系				
日影	冬至日の日影の範囲、日影の時刻及び日影時間数等の変化の程度			
電波障害	遮へい障害及び反射障害			
	パルス雑音障害及びフラッター障害			
風環境				
景観	地域景観の特性、代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度			
史跡・文化財				
自然との触れ合い活動の場				
廃棄物	建設発生土及び建設廃棄物の排出量			
温室効果ガス				

注) : 予測及び評価を行う必要があると認められる環境影響評価の項目